

# 鷗外-六草いちか講演会-の『舞姫』のBERLIN

国分寺市立いずみホール主催事業

日本近代文学の先駆けであり

近代文学史において重要な位置をしめている『舞姫』は

著者鷗外自身の体験が基になった作品でもあります。

当時の地図や画像をふんだんに用い

鷗外が過ごした明治時代のベルリンを再現し

『舞姫』を立体的に解き明かします。

開場18:30 / 開演19:00

国分寺市立いずみホール Bホール

5/25 (金)



森鷗外記念館(津和野)所蔵

入場料 **500円** (税込) 要予約

※高校生以下無料。未就学児入場不可。

※お支払いは全て当日受付にて ※定員50名(先着順)

予約受付 3月16日(金) 10:00~

★いずみホール受付窓口 9:00~18:00

☎電話予約 (042-323-1491) 9:00~20:00

※初日のみ窓口は10:00~、電話予約は13:00~

※休館日には受付しておりませんのでご注意ください



JR西国分寺駅より徒歩2分

駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。



六草いちか(ろくそう・いちか)

作家。ノンフィクション(ベルリンの歴史、生活誌、日独交流史)、映画評論やエッセイなど。1988年よりドイツ・ベルリン在住。

主な著作『鷗外の恋 舞姫エリスの真実』(講談社)

『それからのエリス いま明らかになる鷗外「舞姫」の面影』(講談社)

『いのちの証言: ナチスの時代を生き延びたユダヤ人と日本人』(晶文社)ほか。

主催 国分寺市/指定管理者いずみホール協働事業体 / 協力 森鷗外記念館(津和野)